



# ⑩ 一般国道491号 長門・俵山道路

## 1. 事業概要

- ・事業区間: 山口県長門市俵山小原～長門市深川湯本
- ・延長等: 5.5km(2車線、設計速度80km/h)
- ・全体事業費: 約244億円
- ・計画交通量: 約11,900台/日
- ・B / C: 1.5

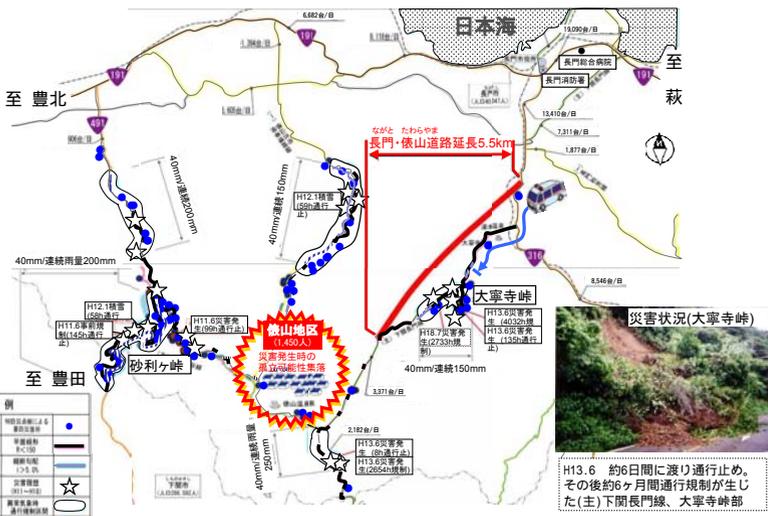
※ 便益(B)には、3便益(走行時間短縮便益、走行経費減少便益、交通事故減少便益)を計上。



## 2. 道路交通上の課題

### ①交通隘路区間への対応

- ・長門市中心部より俵山地区へ向かう国道及び県道において、防災点検における要対策箇所が多く存在(俵山地区周辺約71箇所)し、異常気象時通行規制区間(連続雨量150mm、200mm、250mm)が存在。災害発生時には孤立化する恐れ。
- ・俵山地区周辺の国道及び県道においては、線形不良箇所が多く存在。(曲線半径150m未満:418箇所、縦断勾配5%以上:13km、道路幅員5.5m未満:57区間)



H13.6 約6日間に渡り通行止め、その後約6ヶ月間通行規制が生じた(主)下関長門線、大寧寺峠部

## 3. 地元調整の経緯等

H18～ 環境調査を実施

H18以降 山口県知事、長門市市長他が、「長門・下関間などの早期事業化」を要請  
H21.3 山口県と、ルート・道路構造について確認

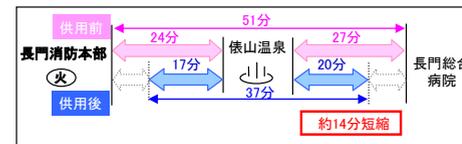
## 4. 整備効果

### 効果1 防災対策

- ・大寧寺峠周辺の防災点検における要対策要箇所及び異常気象時通行規制区間を回避。

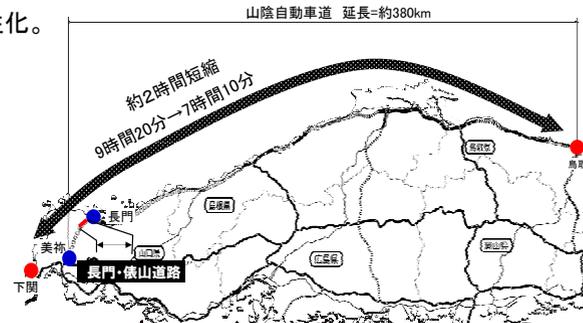
### 効果2 救急医療の支援

- ・救急車が長門消防本部から出発し、俵山地区の患者を長門総合病院まで搬送する所要時間が短縮:51分→整備後37分(約14分短縮)
- ・搬送経路が自動車専用道路に転換し、搬送に伴う患者への負担が軽減。



当該区間は、一般国道としての役割を果たしつつ、山陰自動車道の一部の機能を代替

- ・山陰自動車道の整備により、鳥取～下関間の所要時間が約2時間短縮。(9時間20分→7時間10分)
- ・九州との結びつきが強い山口県西部地域においては、山陰自動車道の整備により、九州方面から長門市へのアクセス性が向上し、観光客が増えるなど、地域経済が活性化。



# ⑪ 一般国道218号 高千穂日之影道路

たかちほひのかけ

## 1. 事業概要

- 起 終 点 : 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井  
～同県同郡日之影町大字七折
- 延長等 : 5.7km、2車線、  
設計速度 80km/h
- 全体事業費 : 約202億円
- 計画交通量 : 約9,400台/日
- B/C : 1.8  
便益(B)には、3便益(走行時間短縮便益、  
走行経費減少便益、交通事故減少便益)を計上



## 2. 道路交通上の課題

### ①線形不良箇所への対応

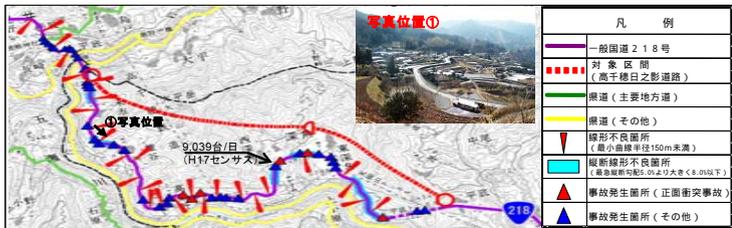
- 26箇所の平面線形不良箇所、5箇所の縦断線形不良箇所が存在。  
(設計速度60km/hの特例もしくは特例値未滿)

### ②防災対策

- 防災点検における要対策箇所27箇所が存在し、H2～H18に合計27回(延べ910時間)の交通規制が発生。
- H16・H17災害時では、県北地域でのべ約1万人の孤立集落が発生。

### ③交通事故対策

- 死傷事故率が馬門交差点(西臼杵郡高千穂町大字三田井)において334件/億台キロとなっており、宮崎県の国道及び県道における平均値(77.8件/億台キロ)の約4倍。



【災害状況】



【災害状況】



【事故発生状況】



## 3. 地元調整の経緯等

- 平成14年度に環境調査を実施
- 平成20年10月に沿線市町村より早期整備の要請あり
- 平成21年1月に宮崎県知事より直轄事業による早期整備の要請あり
- 平成21年1月にルート・道路構造等について、検討状況の地元説明会を実施  
(高千穂町、日之影町)
- 平成21年3月にルート・道路構造について確認  
(宮崎県、高千穂町、日之影町)

## 4. 整備効果

### 効果1 線形不良箇所の解消

- 高千穂日之影道路の整備により、高千穂～延岡間の所要時間短縮。  
【現況68分→将来52分(北方延岡道路との連携)】
- 平面線形不良箇所(26箇所)、縦断線形不良箇所(5箇所)の回避により走行性を改善し、高千穂峡等の主要観光施設へのアクセス向上に寄与。

### 効果2 防災対策

- 防災点検における要対策箇所(27箇所)を回避するとともに、緊急輸送道路一次ネットワークを確保。

### 効果3 交通事故の低減

- 事故が集中する線形不良箇所の回避により現道の交通事故を低減。

当該区間は、一般国道としての役割を果たしつつ、九州横断自動車道延岡線の一部の機能を代替

- 第三次救急輸送60分圏域のカバー人口が増加するとともに、線形不良箇所を回避することにより安全性・走行性が確保され、患者の搬送時の負担が軽減。



# ⑫ 新潟山形南部連絡道路 梨郷道路(一般国道113号)

## 1. 事業概要

- ・起終点: 山形県長井市大字今泉字新田～南陽市大字竹原字加津木沢
- ・延長等: 7.2km、2車線(暫定)

設計速度80km/h

- ・全体事業費: 約188億円
- ・計画交通量: 約11,100台/日
- ・B / C : 2.6

※ 便益(B)には、3便益(走行時間短縮便益、走行経費減少便益、交通事故減少便益)を計上。



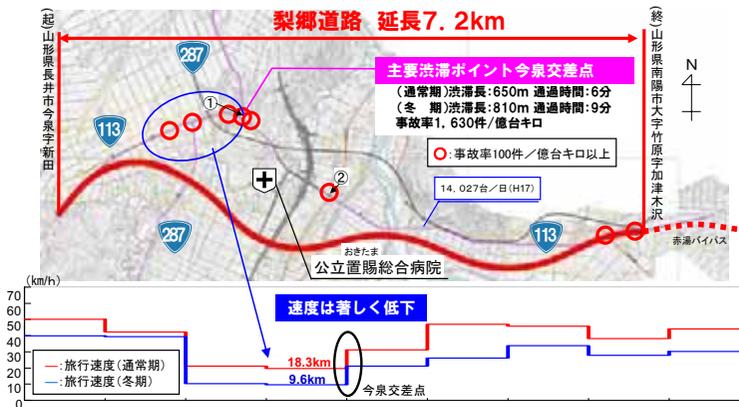
## 2. 道路交通上の課題

### ① 渋滞対策

- ・主要渋滞ポイントである今泉交差点で著しい渋滞が発生。(通常期は通過時間6分、冬期は9分)

### ② 交通事故対策

- ・事故率100件/億台キロ以上箇所が8箇所存在し、今泉交差点では、死傷事故率1,630件/億台キロ。(東北で4番目)



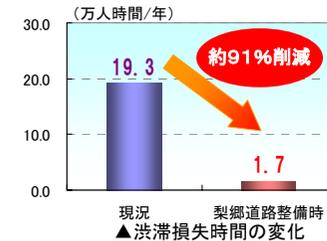
## 3. 地元調整の経緯等

- ・H19～20年度 環境影響評価を実施
- ・H19年6月以降 南陽市長、小国町長、関川村長他が、長井市～南陽市の整備区間への早期格上げと事業化を要請
- ・H21年1月以降 山形県知事が梨郷道路の早期整備促進を要望
- ・H21.3 山形県、長井市、南陽市、川西町とルート・道路構造について確認

## 4. 整備効果

### 効果1 交通渋滞の緩和

- ・梨郷道路の整備により渋滞ポイントが解消
- 最大渋滞長650m → 80m
- 最大通過時間6分 → 1分
- 渋滞損失時間
- 19.3万人時間/年 → 1.7万人時間/年(91%削減)



### 効果2 交通事故の低減

- ・8箇所の死傷事故率100件/億台キロ以上の箇所を回避。

### 効果3 救急医療支援

- ・梨郷道路の整備により米沢市、上市市及び高島町の一部で三次救急医療施設「公立置賜総合病院」の30分圏域が拡大。(カバー人口:3千人増加)
- ・米沢市からの「公立置賜総合病院」までの搬送経路が自動車専用道路へ転換し、搬送に伴う患者への負担が軽減。



